

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90251	東洋芸術文化学研究A	2単位 前期	1・2	講義	森 達也

■テーマ 東洋工芸史の探求

■授業の概要

世界の陶磁器の源流となった中国陶磁の発展史を、時代ごとに詳説する。その背景となった中国を中心としたアジアの歴史についても概説。また、中国陶磁と関係の深い青銅器、漆器、ガラス器、玉器、金銀器など中国工芸全般についても触れる。文献や写真だけでなく、陶片などの実物資料も活用する。

■到達目標

- ・中国陶磁の発展史の詳細を把握するとともに、中国工芸全般への理解を深めることを目的とする。
- ・中国陶磁史を通じてアジア工芸史全般を理解することにより、東洋美術史を理解するための基礎を身に着ける。
- ・実物資料を見る機会を設け、研究者として資料調査方法を身に着けることも目標とする。

■授業計画・方法

1. オリエンテーション、中国の風土と歴史
 2. 中国陶磁史概説
 3. 新石器時代の土器
 4. 商周時代の土器と原始青磁
 5. 秦・兵馬俑と漢・兵馬俑
 6. 漢時代陶磁の発展
 7. 魏晋南北朝の陶磁
 8. 北朝から唐時代の鉛釉陶器の発展と白磁の誕生
 9. 晩唐の中国陶磁と海外輸出
 10. 青磁の発展－越州窯、耀州窯、汝窯－
 11. 青磁の発展－南宋官窯、龍泉窯－
 12. 白磁の発展－邢窯、定窯、景德鎮窯、徳化窯－
 13. 青花磁器の誕生と発展(景德鎮)
 14. 青花磁器と五彩磁器の展開(景德鎮)
 15. 中国貿易陶磁、授業総括
- ※ 定期試験は実施しない。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

中国史の概説書や中国陶磁史の概説書に目を通してもらいたい

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点40%、レポート60%で評価を行う。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究科(後期博士課程)の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献(資料)等

□教科書 なし

□テキスト 資料は講義中にプリントを配布する。

□参考文献 講義中に紹介する。